健康と生活の情報誌 ニュー・ライフ

NEW LIFE

No.139

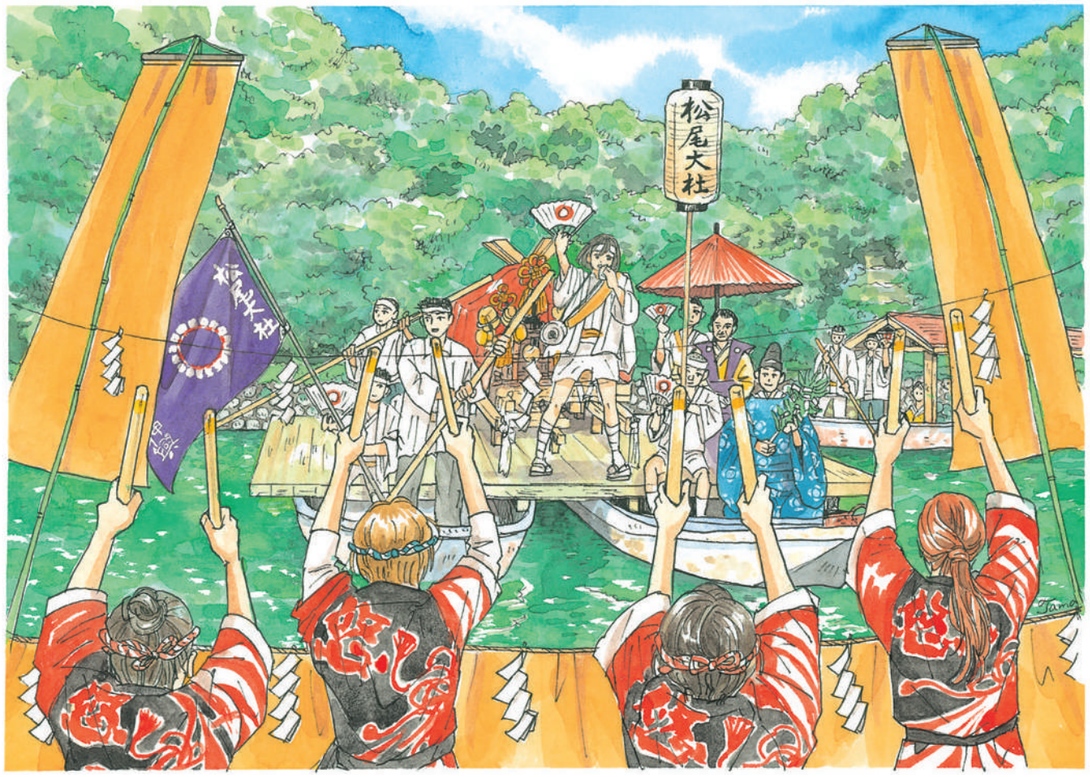
2025年9月

発行者／社会福祉法人 京都社会事業財団 ライフ・イン京都
制作・印刷／有限会社 アクト

ライフ・イン京都
〒615-8256
京都市西京区山田平尾町46-2
TEL.075-381-1870　FAX.075-381-1899
https://lifeinkyoto.or.jp

理　念

介護付有料老人ホーム「ライフ・イン京都」は、自立支援の信念のもとに、永年社会に貢献された方々に、今一度自分の個性を見出し、豊かな生活環境の中で、活気ある生活、楽しい「生きがい」を再認識していただくと共に、すべての職員が自分の仕事に誇りを持ち、社会と地域に貢献することを目指します。



松尾大社 八朔祭

夏の終わり、秋の訪れを告げる京都の風物詩、松尾大社の『八朔祭』。130年以上の歴史を誇るこの祭りは、五穀豊穣と家内安全を願う人々の想いが込められた伝統的な行事です。

八朔とは、旧暦8月1日（朔日）の事で、このころ台風や病害虫の被害をこうむる事が多いため、風雨を避け、順調な五穀豊穣、家内安全を祈ることを目的として、以前は9月1日に行われ、昭和51年以降、9月の第一日曜日に執り行われており『八朔祭』は京都で最後の夏祭りです。

前日の土曜日より五穀豊穣や風雨安泰を祈願し八朔相撲や六斎念仏踊りなど盛大に諸行事が実施され見どころが豊富ですが、なかでも注目したいのはやまぶき会「女神輿」の巡幸で渡月橋上流で船渡御を行う場面です。

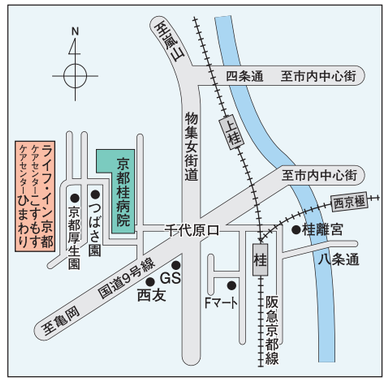
神輿は「ホイットホイット」という力強い掛け声とともに松尾大社を出発し、嵐山・渡月橋へ。船に乗り込み保津川上流へと向かいます。花火の音と煙を合図に引き返し、船から降りたら、竹林の小径や野宮神社など嵐山の名所を巡行し松尾大社へと戻ります。

『日めくり京都365』より編集・引用



ライフ・イン京都のデータ

事業主体：社会福祉法人 京都社会事業財団
敷地面積：14,216.87㎡　事業主体所有
建物延面積：22,200.88㎡　事業主体所有
居室数：一般居室（1DK～3LDK）全室個室77タイプ　226室（定員274名）
介護居室（ワンルーム）全室個室3タイプ　82室（定員82名）
居室面積：一般居室　31.19㎡～85.56㎡　介護居室　15.71㎡～21.45㎡
交通の便：阪急京都線桂駅から約2,200m（専用バス約15分）
類型：介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）
表示事項：①居住の権利形態：利用権方式　②利用料支払方式：選択方式
③入居時の要件：入居時自立・要支援・要介護
④介護保険：京都市指定介護保険特定施設（一般型特定施設）
⑤介護居室区分：全室個室
⑥一般型特定施設である有料老人ホームの介護にかかわる職員体制：2：1以上



入居推進部からイベント参加についてのお知らせ

9月13日（土）と11月23日（日）に開催される有料老人ホームについての相談・説明会イベントに出展致します。高齢者向け住宅について詳しく知りたい方やそのご家族様向けのイベントとなっております。ぜひこの機会にご参加ください。

第4回 高齢者向け住宅大相談会

日時　令和7年 9月13日(土) 10：00～16：00
会場　京都経済センター（6階 大会議室）
内容　講演会及び個別相談会
参加無料
※詳しい内容は上記QRコードよりLIVING kyoto WEBサイトの「高齢者向け住宅 大相談会」のページをご覧ください。
主催：京都リビング新聞社

有料老人ホーム京都フェスタ2025

日時　令和7年 11月23日(日・祝) 11：00～16：30
会場　京都産業会館ホール 南室（京都経済センター2F）
内容　講演会及び個別相談会（7月末現在、詳細は未定です。）
※詳細につきましては下記のお問い合わせの入居推進部までご相談ください。


昨年の個別相談会の様子


昨年の講演会の様子

主催：高齢者住宅フェスタ実行委員会

イベントにつきましては、「ライフ・イン京都　入居推進部」までご相談ください。 0120-406-140

社会福祉法人 京都社会事業財団
ライフ・イン京都
LIFE IN KYOTO
〒615-8256　京都市西京区山田平尾町46-2
TEL. 075-381-1870　FAX. 075-381-1899
https://lifeinkyoto.or.jp

ご入居に関するお問い合わせは ▶ 0120-406-140（入居推進部まで） 午前9時～午後5時（365日対応受付）

皆様から学ばせて いただいたこと

京都さくら司法書士事務所
司法書士 中野篤子



私は、成年後見業務を中心として仕事をしている司法書士です。そのような中で、ライフ・イン京都様やその入居者の皆様とも様々なご縁をいただいております。

現在の成年後見制度は、平成12（２０００）年4月に施行され、財産管理を中心とする制度から、判断能力が低下したとしても自己決定権を尊重し、必要な支援を受けて暮らすための制度に改正がなされました。しかし、改正から25年が経過する中で、取り巻く社会情勢の変化や、また制度の様々な課題も指摘されることになり、現在法制審議会民法（成年後見等関係）部会で新たな改正に向けた議論が進んでいるところです。例えば、「終わることのできる成年後見制度」という言葉を報道等で目にした方もおられるのではないでしょうか。

また、平成28（２０１６）年に施行された「成年後見制度の利用の促進に関する法律」に基づき、「成年後見制度利用促進基本計画」が策定され、現在第二期の基本計画が進められているところです。「二期計画」に基づく取り組みでは、成年後見制度も含めた「権利擁護支援」がどの地域で暮らしていても必要な人に適切な形で届くための様々な施策が検討され、実施されつつあります。

その施策は司法と福祉の連携も含めた多岐にわたるものですが、このような動きのベースには「私たち抜きに私たちのことを決めないで」という障害者権利条約のキャッチフレーズに見られるような、ひとりひとりの意思を尊重しその実現のための支援、また、その人を中心に置いた制度であるべきという理念が流れていると思います。

私が、ライフ・イン京都様とご縁ができたのは、現在の成年後見制度が始まって間もなくのことであったと記憶しています。その頃は、法改正はなされたものの実際に利用するにあたってどのようにご本人の希望を実現するために支援をすればよいのか、手続きを進めて行けばよいのか、家族や支援者などご本人とかかわりのある人たちとの協力の在り方など、手探りの状態であったことを思い出します。

その中で、私は相談をお受けすることを通じて、入居者の皆様が今までの人生におけるご経験の中で考えたことや、そしてそのお考えに基づきどのような形でこれからを過ごし、全うしたいのか、様々なお話を伺いました。依頼される立場ではあるのですが、逆に皆様から学ばせていただいたことも多く、それが自分自身の仕事を行う中での糧になっていると感じることも少なくありません。

本人を中心として考える新しい成年後見制度がより多くの必要とされる人に届くために、皆様から学ばせていただいたことを生かし、少しでもお役に立つことができるよう、これからも取り組んでいきたいと考えています。

寄稿

空想系創作小話⑤

笑う門には福来る

（2025・7・20）

苦しみが続くある時代に「ひねり」（駄洒落等の面白み）のきいた5・7・5調の「ひねり俳諧」（これは架空）が誕生した。その守り神は「大きな『おひねり』を抱えた大黒様（豪快に笑って金運と幸福を呼び込む縁起物）」だ。

師匠と弟子達は「苦しみは笑いで乗り越えよう！」と「ひねり俳諧お笑い運動」を始めた。そして守り神の「大黒様」を神輿にのせ、スローガンの『ひねり俳諧、笑って呼び込め、福来い福来い』と叫びながら、江戸から京都へと練り歩き、弟子を増やしていった。

京都の手前、逢坂の関では悪い風邪の蔓延で関所が封鎖。一行も感染し、咳は増えるし旅費も底をついた。それで師匠が『都まで、足延ばしし、お足（お金）なし』と嘆き、皆も落胆した。だが「苦しみは笑いで乗り越えよう！」というお笑い運動の大目的を達成すべく、師匠が『関（咳）の山、笑って越えれば、福来る』と詠んだひねり俳諧で鼓舞したから、皆は「大黒様」を担ぎ、「ワッハッハッ」と大笑いしながら練り歩いて、大いに元気を取り戻したそうな。〈A・A〉



ChatGPTによる作画

YouTube ご入居者さまで「youtube」をされている方がいらっしゃいます。
今回はyoutubeチャンネルをご紹介させていただきます。



チャンネル名 賀らG（youtube.com/@賀らG）

「京都　老人ホームの窓から」では、ここ洛西の有料老人ホームの居室の窓から遠望する、京都の町とその周辺の風景を、短いビデオでお伝えします。

それは、ほとんどの方からすれば、自宅の窓から見る単なるスナップに過ぎない、つまり、平凡そのものの動画でしょう。

しかし、私は、自分がまるで、移動の出来ない植物や樹木でもあるかのように、自分がテラスから見渡せる、この限られた世界のありさまに、変わらぬ興味や関心を、覚えるのです。また、その時々に心を動かされた情景が、いわば私の心象風景でもあるように、愛着を感じもするのです。

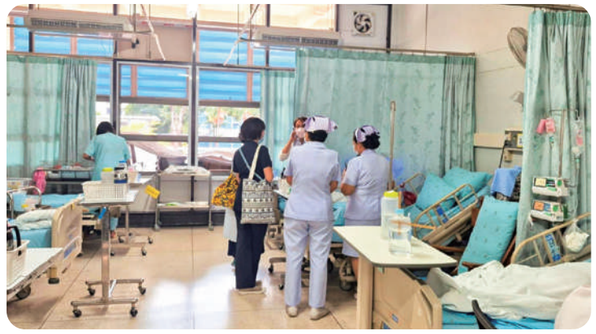


ぜひ一度ご覧ください。「高評価」・「チャンネル登録」もよろしくお願いします。

わいわい健康探検コラム
～フィールド医学通信～

発展する 生殖医療技術

京都大学大学院
アジア・アフリカ地域研究研究科
東南アジア地域研究専攻1年
田中 沙季



コンケーン大学産科病棟にて看護師さんから話を聞く場面

皆様こんにちは。私は京都大学大学院生の田中沙季と申します。元々助産師（ちょっと前の言葉だと産婆さんですね）として働いていたのですが、誰しも生まれるときには関わっている職種だと思います。もちろん女性であればご自身の出産で接する機会があった方もいると思いますし、お孫さんの誕生で関わったことのある方もいらっしゃると思います。私が多くの生命の誕生の瞬間に立ち会わせていただいた中で思うことは、母強し！の一言に尽きます。

私はタイの東北部で9月から本格的に研究を進めようと思っていますが、実は昨年11月にもタイに下見しに行きました。私が見学させていただいたのは大きな大学病院だったのですが、個人的な感想としては日本とあまり変わらないな、というものでした。もちろん細かい体制や医療技術、文化、国としての医療制度など違う点はたくさんあります。ただ、どの国でもお母さんが赤ちゃんを見つめるまなざしや、その母子に最善のケアを行おうとする医療スタッフの姿勢は日本と変わらず、国境などあまり関係ないのかな、と感じました。

ただ、中には子どもが欲しくても妊娠や出産が難しい方がいることも事実です。そのため不妊治療を選択する夫婦もたくさんいます。不妊治療は近年急速に発展した技術なので、あまり聞きなじみのない方もいるかもしれません。不妊治療にはいくつかの段階がありますが、最終段階としては身体の外で卵子と精子を受精させたものを体内に移植する「体外受精」というものがあります。この体外受精の技術を発展させて、卵子や精子を他の人からもらう卵子／精子提供や、子宮に異常があって妊娠できない女性の代わりに夫婦の受精卵を他の女性に移植する代理出産などの技術も進歩しています。このような技術はここ数十年で急速に発展してきたので、皆さん驚かれるかもしれませんね。これらは子どもが欲しい人にとっては最後の手段であり、救いの医療技術となるかもしれません。その一方で多くの課題も残っています。人間はどこまで生命に関与していいのか？これは不妊治療だけにとどまらず、どんな医療技術にも言える大きな問いかもしれません。このような出発点から私は不妊治療に興味を持ち、大きな研究のテーマとしています。賛否両論な生殖に関する医療技術ですが、皆さんはどう思われますか？

このコラムは、ライフ・イン京都 健康長寿計画の一環です。

2025年 5月～8月 最近のイベントの紹介



・5月17日(土)

「おいしいコーヒーの淹れ方」教室

レストランにおきましてコーヒーをこよなく愛されている10名のご入居者が参加され実際にコーヒーを淹れながらその工程を楽しんでおられました。



・6月3日(火)

講演会
「ゴッホの軌跡」

立命館大学の門屋秀一先生をお迎えし、ゴッホの生涯や作品に込められた思いについて貴重なお話を伺うことができました。



・6月11日(水)

健康長寿計画説明会

今年度も健康長寿計画を実施するにあたり、その計画の説明をさせていただきました。たくさんの方に関心を持っていただき聞いていただきました。



・6月24日(火)

第2回
シャンソンエトワール

昨年開催しご好評いただいたコンサートが帰ってまいりました。ピアノとバイオリンの音色と共に美しい歌をご披露いただき、約2時間、長時間の開催でしたが、大いに盛り上がりました。



・7月3日(木)

運営状況説明会

令和6年度の運営状況、財務状況、生活満足度アンケートについて、資料をもとに説明をさせていただきました。



・7月7日(月)

七夕カラオケ広場

ロビーに飾られた七夕飾りを背に9組のご入居者様が美しい歌声を披露してくださいました。七夕ということで最後は皆様と「たなばたさま」を合唱いたしました。



・7月9日(水)

健康長寿検診

6月の健康長寿計画説明会を受けて、110名をこえるご入居の皆様にご参加いただくことができました。健診結果はあらためてフィードバックいたします。



・7月15日(火)

キリンビバレッジセミナー
熱中症対策＆免疫ケア教室

キリンビバレッジの池田様にお越しいただき、熱中症はどうして起こるのか？予防するにはどうすればよいのか？クイズを交えながら楽しく解説いただきました。



・8月16日(土)

五山送り火の夕べ

6年ぶりに盆踊り大会を再開し、たくさんの方々に踊っていただきました。急な雨もありましたが、五山送り火は予定どおり実施されました。ビンゴ大会はたいへん盛り上がり楽しいひと時となりました。



information
お知らせ掲示板



入退去状況

●新しくご入居されました
令和7年5月から8月末まで
【本　館】
令和7年8月1日
二一〇号室　梅　永　龍　子様
＊他に3名の方がご入居されました＊
【ひまわり】
2名の方がご入居されました

●ご逝去のお知らせ
令和7年5月から8月末までの間に、本館3名、ケアセンター2名の方がお亡くなりになられました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



新人職員紹介

●入居推進部



小林 華奈
滋賀県出身
趣味：映画鑑賞

●看護部 本館看護課



湯川 美穂
広島県出身
趣味：読書

よろしくお願いします



絵画をご寄贈いただきました

ご入居者である加藤行男様から30点以上にも及ぶ絵画のご寄贈をいただき、本館5階談話室に飾らせていただいております。

1. 50年建築の設計、施工に携わってきて絵画の先生方とのお知り合いになり多くの作品に接し、その構図の取組まれている様は、私の仕事にも相通じあうことです。スケッチ旅行や内外の多くの美術展にも同行し興味が募り徐々に集めました。
1. 此に芝田先生の多くの作品があります。独立美術協会の指導の第一人者として、精華大学創設の貢献、それにニューヨーク美術館にも取上げられ、文化庁も作品の買上、紺綬褒章を受けられた現代洋画壇の重鎮の作品です。
1. 又、米原出身のヒロヤマガタさん、アメリカ独立記念日の優秀作品ポスターとして取上げられた方で米原診療所竣工の際チャリティーとして提供された絵画の一点（ベニチュアの風景）も展示してあります。

追伸、「美的な感動」や「思考や感情の刺激」、「リラックス効果」等絵画を鑑賞することはとても良い効果があります。ぜひお時間がある時に談話室を覗いてみてください。

加藤様にはこの場を借りて深く感謝申し上げます。ありがとうございました。







加藤 行男 様



ケアセンターひまわり・ケアセンターこすもす
ケアセンター便り



春の野外レクリエーションに行ってきました！



天候にも恵まれ、楽しいひと時を過ごしました。

春の野外レクリエーションで外食やドライブ、カフェ、松尾大社、公園などご希望された所に行ってきました。

・京都髙島屋

ご家族様と髙島屋で待ち合わせをして、喫茶や買い物など楽しい時間を過ごされました。
こういったご家族様との大切なお時間を作るお手伝いを増やして行きたいと思います。



・松尾大社



天候にも恵まれ、5名のご入居者とお食事に行ってまいりました。
満腹になった後、折角だからとお参りに行かれる方もおられました。

・マールブランシェ

車で10分程の距離に新しくできたマールブランシェでケーキを召し上がられました。
「ケーキはおいしいね」「綺麗なお庭ね」とたくさんの笑顔が見られました。





・ホテルオークラ



ホテルオークラへご夫婦で美味しいスイーツを食べに出掛けました。
迫力ある立派な五月人形がロビー中央に展示されていました。

・バスツアー

●都ホテル
●おたべ手作り体験
●アトリエ京バアム





おたべ手作り体験

バスをレンタルしてご入居者と職員の計16名で出発。都ホテルでランチの後、おたべ本館に行き『おたべ手作り体験』をしました。なかなか職人さんのようにはいかずでしたが、最後は美味しく召し上がっておられました。

